

## 果菜類の栽培管理

春に植え付けた果菜類の苗も大きくなってきたことと思います。梅雨の間と梅雨明け後は生育環境の変化が激しいので梅雨明け後は厚めに敷きわらを引くなどして乾燥や地温の上昇を防ぐことが大切です。

### 主な野菜の整枝

・ナス・・・主枝を3～4本仕立てにします。枝が水平に近くなると生育が鈍ってくるので、つり上げたりせん定します。

・トマト・・・腋芽は小さいうちにつみとって一本立てとし、支柱の高さまで伸びたら最上段花房の上の葉を2～3枚残して摘心します。

・キュウリ・・・株元から5節までは早めに子づると雌花は摘み取り、親づるは支柱 いっぱいで摘心。子づる1節目には雌花がつくので2葉残して摘心。孫づるが出たら子づると同様に摘心します。

・スイカ・カボチャ・・・本葉5～6枚で摘心し、子づる4本仕立てにするのが一般的。最初の着果節位までは発生する孫づるはすべて切除しましょう。着果後は放任してもかまいません。

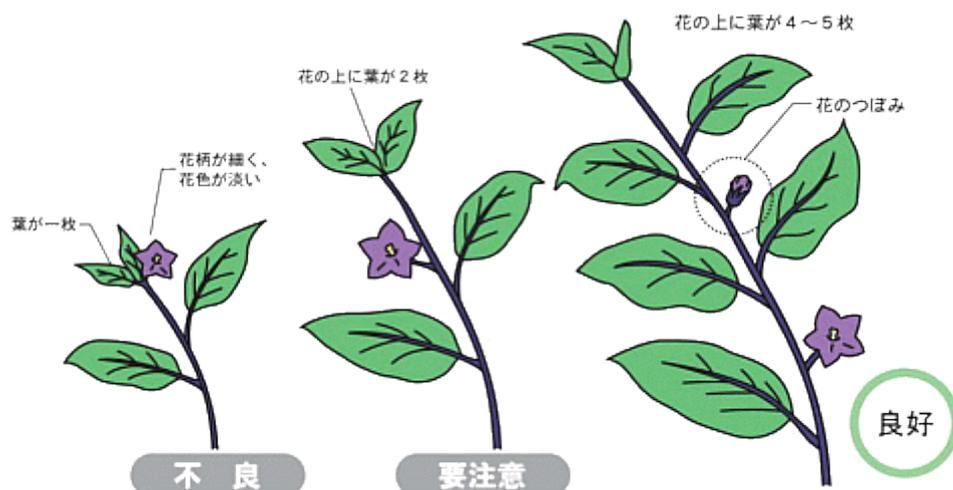
### 生育診断と樹勢調節

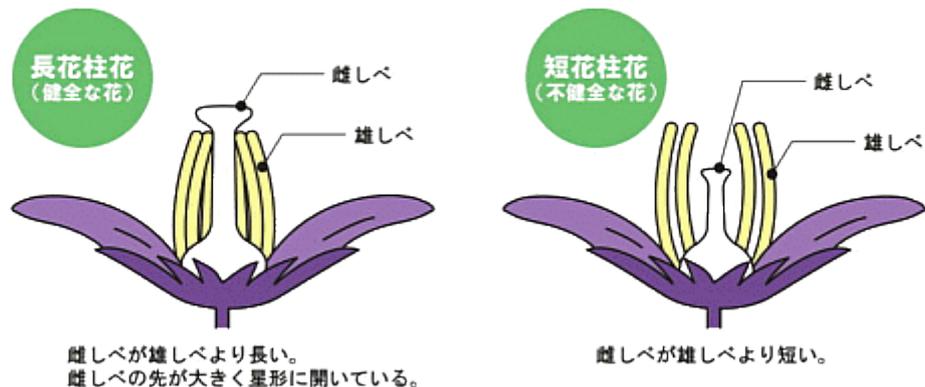
#### <ナス>

#### 1. 生育診断のために観察するところ

①開花している花から生長点の間にある葉の枚数

②雌しべと雄しべの長さの比較





## 2. 標準的な追肥の仕方

- ①開始時期 →第1果の収穫直前  
その後は10～14日おきに
- ②1回あたりの量 化成肥料で1回あたり200～300g/10㎡

## 3. 樹勢が弱いと判断した場合の対策

- ①小さめで収穫する。特に初期から生育が悪い場合は第1花は花の時期に取り除く。
- ②誘引を遅らす。
- ③こまめにかん水すると同時に追肥間隔を短くする。
- ④窒素成分主体の液肥や葉面散布剤を散布する。

## 4. 樹勢が強いと判断した場合の対策

- ①やや大きめで収穫する。
- ②誘引をやや早めから行い、強い枝を折れない程度に寝かす。
- ③追肥開始時期をやや遅らす。
- ④リン酸成分主体の葉面散布剤を散布する。

## <トマト>

### 1. 生育診断のために観察するところ

- ①先端付近の葉の巻き具合
- ②茎の太さ



## 2. 標準的な追肥の仕方

- ①開始時期 第1果房が10円玉～ピンポン玉の大きさになった時  
その後は奇数段が開花した時
- ②1回あたりの量 化成肥料で1回あたり 200g/10 m<sup>2</sup>

## 3. 樹勢が弱いと判断した場合の対策

- ①1果房を2～3果に摘果する。
- ②着果負担が十分にかかっている時期は、追肥やかん水間隔を短くする。
- ③窒素成分主体の液肥や葉面散布剤を散布する。

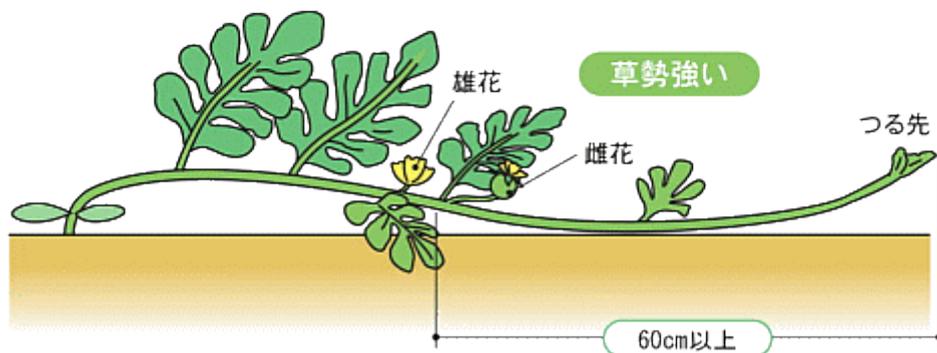
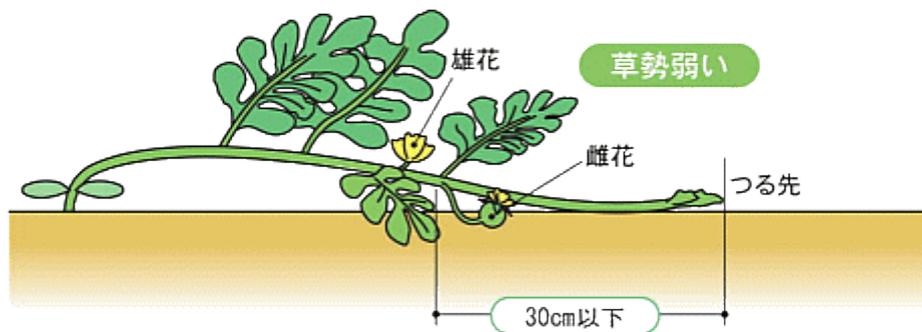
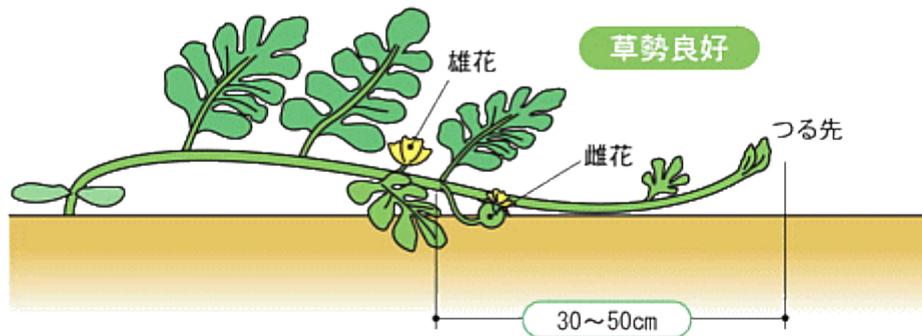
## 4. 樹勢が強いと判断した場合の対策

- ①追肥の開始時期を遅らす。
- ②リン酸成分主体の葉面散布剤を散布する。

## <スイカ>

### 1. 生育診断のために観察するところ

- ①つる先の持ち上がり具合
- ②開花位置～つる先までの長さ



## 2. 標準的な追肥の仕方

### ①追肥の時期

1回目 つる長が 50 cmの時(樹勢が強いようなら省く)

2回目 第1花が着果した時

3回目 第1果が茶碗台の時

### ②1回あたりの量

1回目 化成肥料で 200~300g/10 m<sup>2</sup>

2回目 化成肥料で 300～400g／10 m<sup>2</sup>

3回目 化成肥料で 200～300g／10 m<sup>2</sup>

### 3. 樹勢が弱いと判断した場合の対策

上記の追肥時期の間に液肥や化成肥料で補う。  
ただし、1回当たりの施肥量は多くしないこと。

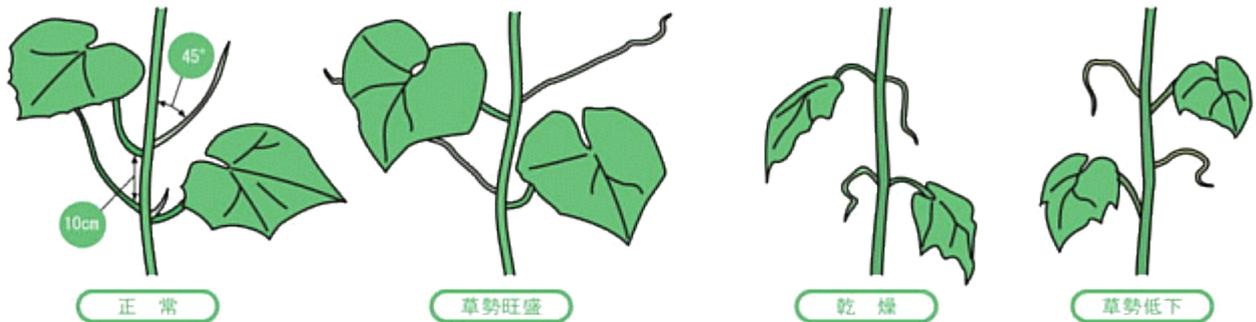
### 4. 樹勢が強いと判断した場合の対策

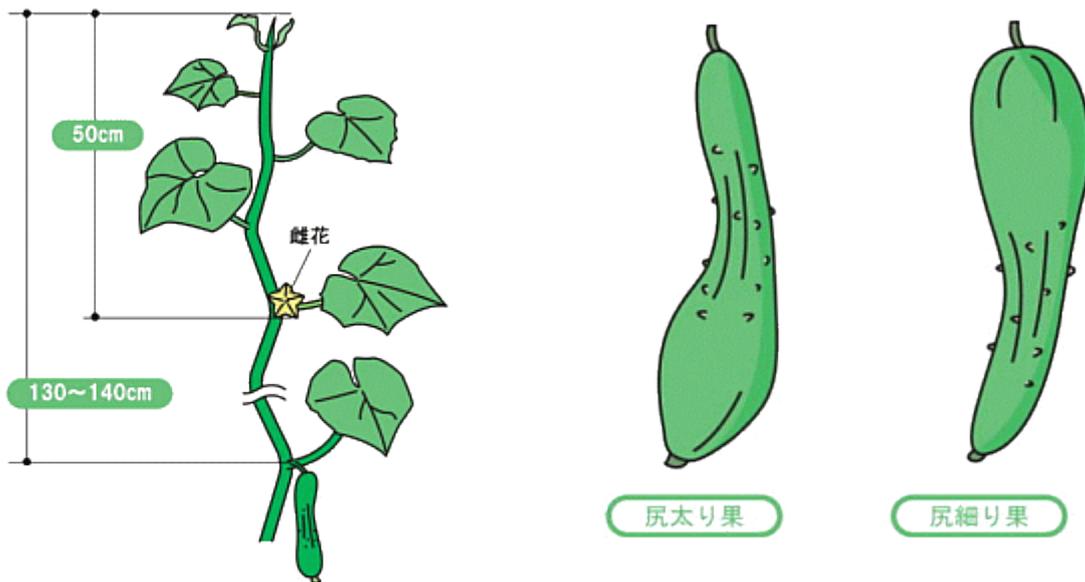
2回目の追肥のみとする。

#### <キュウリ>

#### 1. 生育診断のために観察するところ

- ①葉と巻きつる先の発生角度
- ②開花位置～つる先までの長さ(葉が5枚程度)
- ③子つる、孫つるの発生状況
- ④果形やイボの状態





## 2. 標準的な追肥の仕方

- ①開始時期 → 果実肥大開始期。その後は1週間おきに。
- ②1回あたりの量→化成肥料で 200~300g/10 m<sup>2</sup>

## 3. 樹勢が弱いと判断した場合の対策

- ①液肥または葉面散布剤
- ②10 節目くらいまでの雌花を除去。
- ③果実を小さめで収穫する。

## 4. 樹勢が強いと判断した場合の対策

- ①追肥の開始時期を遅らす。
- ②追肥間隔を伸ばす。
- ③リン酸成分主体の葉面散布剤を散布する。

[\(戻る\)](#)